

## ■容器は再使用できるものを選ぶ

私の子どもの頃は、よくお使いに行きました。一升びんをぶら下げてお醤油や油を。お豆腐やこんにゃくはお鍋を持って買いにいきました。当時は買い物時に容器や買い物かごを持参することは当たり前で、生活の一部となっていました。空の一升びんをお店に持参すると、その空き瓶に醤油や油を詰めてくれました。そしてその瓶は何回も何回も利用できました。このようなびんをリターナブルびん(return 戻る+able 可能)とよんでいます。

しかし、現代ではお醤油や油はワンウェイびんにとって変わっており、最近ではペットボトル入りのものが主流になっています。

日本は今、ごみで溢れかえろうとしています。また、ごみの焼却に伴ってダイオキシンに代表されるような有害な物質も発生し、人間ばかりでなく地球上すべての生命が脅かされるような状況となっています。また一度使った容器は日本の市場では経済的にもシステムの的にもリサイクルの輪が完結していないのが現状です。

何回も利用できる容器を使用することは、資源を守り、ごみを減らすためにはとても必要なことです。便利な生活に慣れきってしまった私たちは、びんや容器を持参することは難しいのかもしれませんが、日常の生活習慣を少しずつ変えていくことがグリーンコンシューマーとなる第一歩ではないかと思います。